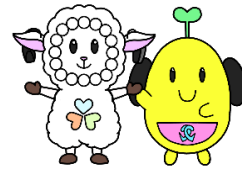


進路通信 No. 2



第1回進路講演会

6月19日(金)、大阪ろう就労支援センター長の前田様をお招きし、中学部・高等部の生徒を対象に「第1回進路講演会」を実施いたしました。

前田様は大阪の聾学校で教員として勤務された後、2019年からは大阪ろう就労支援センター長に就任され、聴覚障害のある方々の就労支援に携わっておられます。当日は学校教育の現場と聴覚障害の方の就労支援の双方の立場から、進路選択や社会で活躍するために大切なことについてお話いただきました。生徒たちにとって、自身の将来について考える貴重な機会となりました。

講話Ⅰ「働くろう者たちに学ぼう～さまざまな働き方～」

- ・自己紹介
- ・マンガを通してことばを覚える
(話しコトバ⇄書きコトバを知る)
- ・活躍する先輩たち
(シーサー職人、ツアーコンダクター、トリマー)



講話Ⅱ「あなたの今までとこれから～進路を考えるために～」

- ・コンセンサスゲーム「無人島にて」
「無人島に4つだけ持っていくなら」というテーマで、グループで話し合い、グループ内合意を目指すゲーム。
- ・企業が求める人材
「明るく元気に挨拶ができる人」「まじめで思いやりがある人」「自分の苦手なことを言える人」「自立して長く働きたい人」「うそをつかない正直な人」
- ・なぜメモをとるのか
会社に入ったらメモを取らないといけない。聴覚障害の人は難しいからこそ、メモを取るトレーニングをしましょう。
- ・自分をみつけよう
画用紙に「私の希望サークル」を書きましょう。

前田様からは最後に、

「夢はなんでも、いつでもOK!時間をかけて考えたらいい。自分を見つめよう、見つけよう。」

というお言葉をいただきました。

【それぞれの感想】

（高等部の生徒）

- ・前田さんの昔の苦労したお話を聞いて、今聴覚障害者でも働ける環境に感謝したいと感じました。
- ・コミュニケーションを取って、みんなに自分の意見を納得してもらえるように伝えることが大切だと知りました。
- ・メモを取ることの大切さを学びました。
- ・講演を通して、進路について真剣に考えることの大切さを学びました。
- ・働いているろう者の話を聞いて、ろう者でも自分の夢を持って働いている人がこんなにいると気づく良い機会になりました。
- ・一番印象に残っているのは、メモをとるということです。私はメモをあまり取らなかったのですが、実際に講演を聞いたら、メモを取ることが大切だなと思いました。
- ・メモを取ることで話し合っただけで決めること、間違えたらすぐに謝って直すことが大切だなと思いました。

（中学部の生徒）

- ・講演会を聞いて、耳が聞こえない人でも仕事をしてすごいなと思いました。
- ・昔はやりたい仕事があっても、それをできる可能性はゼロに近かったから、好きなようにできなかったんだって思いました。今はどんな仕事でも大丈夫なところが多いので、時代とともに変化しててよかったなって思いました。

【保護者のみなさま】

- ・聴覚障害者に関わらず、世間に出る上で必要なスキルなどをわかりやすく説明して下さったと思います。参加して良かったです。
- ・就職にあたり、どういった能力や人材が求められるのかを理解することができてよかった。
- ・ご自身の経験に基づいた言葉の一つ一つに大変重みがあり、子どもたちにとっても、保護者である私にとっても、勇気と希望をいただける時間でした。

～今後の進路行事予定～

※ 中学部トライやるウィーク、校外学習報告会

7月2日（木）に13時20分～プレゼン室にて報告会を行います。中学部と小学部高学年が参加します。子どもたちには、自分が体験してきたことをみんなの前で発表する経験を積み重ねることで、表現力や伝える力を高め、今後の学習や生活に生かしてほしいと考えています。

※ 第2回進路講演会について

日 程：12月18日（金）

時 間：10:30～（予定）

講 師：卒業生（予定）

第2回進路講演会は卒業生を招いての講演会を予定しています。なお講師や時間等につきましては、現在調整中です。詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。ぜひご参加いただきたく、あらかじめご予約くださいますようお願いいたします。

